

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語A／仏検2・1級取得対策講座A						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検準2級に合格できる総合的な語学力の養成を目的とする。 仏検準2級の過去問題、対策問題を解いていく。						
到達目標	仏検準2級レベルの問題に十分対応できる力を養う						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材配付。聞き取り練習。 第2回：準2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第3回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第4回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第5回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第6回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。 第7回：準2級用練習問題（2）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第8回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第9回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第10回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第11回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。 第12回：準2級用練習問題（3）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第13回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。 授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントにて配付する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語B／仏検2・1級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検準2級に合格できる総合的な語学力の養成を目的とする。 仏検準2級の過去問題、対策問題を解いていく。 全体的に準2級に十分対応できる力がついたと認められる場合は、 2級用の問題に移ることもありうる。						
到達目標	仏検準2級レベルの問題に十分対応できる力を養う。可能ならさらに上を目指して、仏検2級レベルの実力養成に向かう。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材配付。聞き取り練習。</p> <p>第2回：準2級用練習問題（4）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：準2級用練習問題（5）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：動詞の問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントにて配付する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語A／仏検3・2級取得対策講座A						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検3級を取得できる総合的な語学力の養成を目的とする。実力養成のために仏検過去問題、対策問題を解いていく。仏検3級突破に必要な語彙力をつけるとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成し、また、書き取り、聞き取りの力も高める。						
到達目標	仏検3級レベルの問題に十分対応できる力を養う。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材の配付。聞き取り問題練習。</p> <p>第2回：3級用練習問題（1）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：3級用練習問題（2）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第9回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：3級用練習問題（3）、語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験。</p> <p>第1回目以降に渡す3級対策用語彙教材をもとに、隔週で単語テストを行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検に合格した者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語B／仏検3・2級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2～4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	<p>仏検3級を取得できる総合的な語学力の養成を目的とする。実力養成のため過去問題、対策問題を解いていく。仏検3級突破に必要な語彙力をつけるとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成し、また、書き取り、聞き取りの力も高める。全体的な実力向上が認められる場合は、途中から準2級対策用問題に移ることもありうる。</p>						
到達目標	<p>仏検3級レベルの問題に十分対応できる力を養う。その力がついたら認められる場合は、さらに上を目指し、準2級レベルの実力の養成を目指す。</p>						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材の配付。聞き取り問題練習。 第2回：3級用練習問題（4）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。 第3回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。 第4回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。 第5回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第6回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第7回：3級用練習問題（5）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。 第8回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。 第9回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。 第10回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第12回：準2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第13回：動詞の問題、代名詞の問題、書き取り、聞き取り問題。 第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第15回：試験。 隔週に単語テストを行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。 授業後学習：前回誤答であったところをもう一度見直し、文法書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	試験に平常点を加味する。仏検に合格した者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	打田 素之						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 フランス語の発音 第2回 Leçon 1 (1) 名詞の性と数 第3回 Leçon 1 (2) 不定冠詞 第4回 Leçon 1 (3) 部分冠詞 第5回 Leçon 2 (1) 定冠詞 第6回 Leçon 2 (2) 提示の表現 第7回 Leçon 3 (1) 主語認証代名詞 第8回 Leçon 3 (2) 規則動詞 第9回 Leçon 3 (3) 疑問形 第10回 Leçon 4 (1) être と avoir 第11回 Leçon 4 (2) 否定形 第12回 Leçon 4 (3) 疑問文に対する答え 第13回 Leçon 4 (4) 指示形容詞、筆記試験 第14回 Leçon 5 (1) 形容詞の位置 第15回 Leçon 5 (2) 形容詞の女性形						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いていく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかける。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う。						
到達目標	基本的な動詞を使った文が理解でき、肯定文のみならず否定文、疑問文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：授業の進め方の説明。アルファベットの読み方とフランス語の筆記体の書き方。発音記号の読み方。 第2回：発音記号の読み方（つづき） 第3回：名詞の性と数 第4回：不定冠詞 第5回：部分冠詞 第6回：定冠詞 第7回：提示表現 第8回：規則動詞（その1） 第9回：規則動詞（その2） 第10回：疑問文 第11回：不規則動詞（その1） 第12回：否定文 第13回：疑問文に対する答え 第14回：指示形容詞 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書とノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。						
教科書	「新版 ル・フランセ」斎藤昌三著、白水社						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いていく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかける。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストも毎回行う。						
到達目標	基本的な動詞を使った文を理解し、肯定文のみならず否定文、疑問文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：授業の進め方の説明。アルファベットの読み方とフランス語の筆記体の書き方。発音記号の読み方。 第2回：発音記号の読み方（つづき） 第3回：名詞の性と数 第4回：不定冠詞 第5回：部分冠詞 第6回：定冠詞 第7回：提示表現 第8回：規則動詞（その1） 第9回：規則動詞（その2） 第10回：疑問文 第11回：不規則動詞（その1） 第12回：否定文 第13回：疑問文に対する答え 第14回：指示形容詞 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回で進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。						
教科書	「新版 ル・フランセ」斎藤昌三著、白水社						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	打田 素之						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 Leçon 5 (3) 名詞と形容詞の複数形 第2回 Leçon 5 (4) 冠詞 des の変化 第3回 Leçon 6 (1) aller と venir 第4回 Leçon 6 (2) 冠詞の縮約 第5回 Leçon 6 (3) 形容詞の女性形2 第6回 Leçon 6 (4) 疑問形容詞 第7回 Leçon 7 (1) 不規則動詞1 : faire, prendre など 第8回 Leçon 7 (2) 命令形 第9回 Leçon 7 (3) 所有形容詞 第10回 Leçon 8 (1) 不規則動詞2 : partir, vouloir など 第11回 Leçon 8 (2) 比較級 第12回 Leçon 8 (3) 最上級 第13回 Leçon 8 (4) 特殊な比較・最上級、筆記試験 第14回 Leçon 9 (1) 不規則動詞3 : voir, dire など 第15回 Leçon 9 (2) 複合過去1 : avoir + 過去分詞						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法の完成 昨年度から継続して、第10課より始める。文法説明以外に、フランス語らしく読めるよう指導もする。またそのための小テストを毎回行なう。 第8回目の授業時に中間試験を行い、第15回目の授業時に期末試験を行う。						
到達目標	代名動詞の文や非人称構文の文だけでなく、関係代名詞、人称代名詞をともなった複雑な文をも理解し、直説法単純未来という新たな時制の文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：昨年度の試験を返却し、解答する。授業の進め方の説明。関係代名詞（その1） 第2回：関係代名詞（その2） 第3回：疑問代名詞（その1） 第4回：疑問代名詞（その2） 第5回：人称代名詞（その1） 第6回：人称代名詞（その2） 第7回：強勢形人称代名詞 第8回：中間試験と授業、受動態（その1） 第9回：受動態（その2） 第10回：指示代名詞 第11回：強調構文 第12回：代名動詞 第13回：非人称構文 第14回：直説法単純未来、前未来 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法入門 フランス語を聞き、話し、書く上で最も必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。フランス語の「しくみ」を習得することが目標。文法事項の説明のあと、それを明確に理解するために練習問題を解いていく。各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかける。教科書の未修部分は、2年次で学習する。 文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストを毎回行う予定である。 第7回目の授業時に中間試験を行い、第15回目の授業時に期末試験を行う。						
到達目標	直説法現在だけでなく、直説法複合過去の文も理解し、命令文や、形容詞、副詞の比較級最上級をとまなうより複雑な文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：前期試験の返却と解答。授業の進め方の説明。変則的な規則動詞の直説法現在。 第2回：形容詞の位置 第3回：形容詞の女性形（その1） 第4回：名詞・形容詞の複数形 第5回：不規則動詞（その1）、冠詞の縮約 第6回：形容詞の女性形（その2） 第7回：中間試験と授業、疑問形容詞 第8回：不規則動詞（その2）、命令形 第9回：所有形容詞 第10回：不規則動詞（その3）、形容詞・副詞の比較級 第11回：形容詞・副詞の最上級 第12回：不規則動詞（その2）、過去分詞 第13回：直説法複合過去 第14回：総復習 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を用いて調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと、						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	岩本 篤子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	基本的な表現を用いたフランス語の会話。						
授業の概要	対話形式の文章を何度も発音して覚え、代入練習によって応用力を付ける。						
到達目標	綴り字を正確に読めるようになることと簡単な会話の習得。						
授業計画	第一回 フランスについての概要。日本語の中のフランス語。 第二回 自己紹介。アルファベット。 第三回 国籍を言う。健康を訪ねる。 第四回 職業・住んでいる所を言う。 第五回 喫茶店で注文する。 第六回 兄弟・年齢について言う。 第七回 人物を描写する。 第八回 身の回りの物について言う。 第九回 疑問詞を覚える。 第十回 物の位置を言う。 第十一回 綴り字の読み方の復習。 第十二回 国名・言語の言い方。 第十三回 好き・嫌いの表現。 第十四回 綴り字の読み方と数字の復習。 第十五回 習った表現の復習とまとめのテスト。						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題と小テストの準備および次回の予習。						
授業方法	受講者がテキストの内容を前もって調べておき、教師について会話表現の練習をする。						
評価基準と評価方法	小テスト80%、まとめのテスト 20%の割合で計算し、60点を合格とする。						
教科書	カフェ・フランセ 朝日出版社 ニコラ・ガイヤール他著						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 今学期は基本的な表現を用いて、自分や他人について語るができるようになることを目指す。 また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って挨拶や簡単な自己紹介、他人の情報を尋ねることができるようになる。また、発音と綴りの関係を学習することによって、フランス語文を正しく音読できるようになる。						
授業計画	第1回：授業の説明, Leçon 0：あいさつ表現、0～20の数 第2回：Leçon 1：名詞の性・数（1）。買い物のやり取り 第3回：Leçon 0-1の復習 第4回：Leçon 2：規則動詞の活用、否定文。名前・住んでいるところを尋ねる・答える 第5回：Leçon 2, 3：さまざまな規則動詞、不規則動詞 être。話せる言語、日々の活動について語る 第6回：Leçon 3：名詞の性・数（2）。国籍、職業を語る 第7回：Leçon 4：不規則動詞 avoir、不定冠詞。持ち物について語る 第8回：Leçon 4, 5：定冠詞。年齢、好みを語る 第9回：Leçon 5：好みを語る（続き）、21～60の数 第10回：Leçon 6：所有形容詞。第三者について語る 第11回：Leçon 2-6の復習 第12回：Leçon 7：形容詞（1）。物や人を描写する 第13回：Leçon 8：形容詞（2）。服装、持ち物を描写する 第14回：まとめと筆記試験 第15回：質疑応答と口頭試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所を目を通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（筆記試験、口頭試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語1C/French 1C						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 今学期は基本的な表現を用いて、自分や他人について語るができるようになることを目指す。 また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って挨拶や簡単な自己紹介、他人の情報を尋ねることができるようになる。また、発音と綴りの関係を学習することによって、フランス語文を正しく音読できるようになる。						
授業計画	第1回：授業の説明, Leçon 0：あいさつ表現、0～20の数 第2回：Leçon 1：名詞の性・数（1）。買い物のやり取り 第3回：Leçon 0-1の復習 第4回：Leçon 2：規則動詞の活用、否定文。名前・住んでいるところを尋ねる・答える 第5回：Leçon 2, 3：さまざまな規則動詞、不規則動詞 être。話せる言語、日々の活動について語る 第6回：Leçon 3：名詞の性・数（2）。国籍、職業を語る 第7回：Leçon 4：不規則動詞 avoir、不定冠詞。持ち物について語る 第8回：Leçon 4, 5：定冠詞。年齢、好みを語る 第9回：Leçon 5：好みを語る（続き）、21～60の数 第10回：Leçon 6：所有形容詞。第三者について語る 第11回：Leçon 2-6の復習 第12回：Leçon 7：形容詞（1）。物や人を描写する 第13回：Leçon 8：形容詞（2）。服装、持ち物を描写する 第14回：まとめと筆記試験 第15回：質疑応答と口頭試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（筆記試験、口頭試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	岩本 篤子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	基本的な表現を用いたフランス語の会話。						
授業の概要	対話形式の文章を何度も発音して覚え、代入練習によって応用力を付ける。						
到達目標	綴り字を正確に読めるようになることと簡単な会話の習得。						
授業計画	第一回 フランスについての概要。日本語の中のフランス語。 第二回 自己紹介。アルファベット。 第三回 国籍を言う。健康を訪ねる。 第四回 職業・住んでいる所を言う。 第五回 喫茶店で注文する。 第六回 兄弟・年齢について言う。 第七回 人物を描写する。 第八回 身の回りの物について言う。 第九回 疑問詞を覚える。 第十回 物の位置を言う。 第十一回 綴り字の読み方の復習。 第十二回 国名・言語の言い方。 第十三回 好き・嫌いの表現。 第十四回 綴り字の読み方と数字の復習。 第十五回 習った表現の復習とまとめのテスト。						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題と小テストの準備および次回の予習。						
授業方法	受講者がテキストの内容を前もって調べておき、教師について会話表現の練習をする。						
評価基準と評価方法	小テスト80%、まとめのテスト 20%の割合で計算し、60点を合格とする。						
教科書	カフェ・フランセ 朝日出版社 ニコラ・ガイヤール他著						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。今学期はさらに表現を増やしつつ、日々の行動や過去の出来事を語るができるようになることを目指す。また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って、日常生活や過去の行為・出来事について語る、尋ねることができるようになる。						
授業計画	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9：場所の前置詞、縮約。行き先を語る 第3回 Leçon 10：交通手段、理由を語る 第4回 Leçon 11：場所の前置詞。さまざまな物の位置関係を語る 第5回 Leçon 12：命令文。道順を言う 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13：部分冠詞。食べるもの・飲むものを言う 第8回 Leçon 14：代名動詞、時間。一日の生活を語る 第9回 Leçon 14, 15：さまざまな不規則動詞。複合過去（1）。一日の生活を語る、1000までの数 第10回 Leçon 15, 16：複合過去（2）。過去の出来事を語る 第11回 Leçon 16：複合過去否定文。過去の出来事を語る 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17：半過去。過去の状況を語る 第14回 Leçon 18：複合過去と半過去。物・事柄を評価する、飲食店でのやり取り 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所を目を通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題や提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。今学期はさらに表現を増やしつつ、日々の行動や過去の出来事を語るができるようになることを目指す。また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って、日常生活や過去の行為・出来事について語る、尋ねることができるようになる。						
授業計画	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9：場所の前置詞、縮約。行き先を語る 第3回 Leçon 10：交通手段、理由を語る 第4回 Leçon 11：場所の前置詞。さまざまな物の位置関係を語る 第5回 Leçon 12：命令文。道順を言う 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13：部分冠詞。食べるもの・飲むものを言う 第8回 Leçon 14：代名動詞、時間。一日の生活を語る 第9回 Leçon 14, 15：さまざまな不規則動詞。複合過去（1）。一日の生活を語る、1000までの数 第10回 Leçon 15, 16：複合過去（2）。過去の出来事を語る 第11回 Leçon 16：複合過去否定文。過去の出来事を語る 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17：半過去。過去の状況を語る 第14回 Leçon 18：複合過去と半過去。物・事柄を評価する、飲食店でのやり取り 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題や提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』伊勢晃・谷口千賀子 著、早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIA						
担当教員	川口 陽子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語初級文法の完成						
授業の概要	フランス語IBの授業を引継ぎ、基本的な文法を学び、フランス語の「しくみ」を習得することが目標です。文法事項の説明の後、それを明確に理解するために練習問題を行います。全員理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでいきます。教科書の未修部分はフランス語IIBで学習します。						
到達目標	フランス語の基本的な代名詞（関係代名詞、疑問代名詞、人称代名詞〔主語・直接目的・間接目的・強勢形〕、指示代名詞、再帰代名詞、中性代名詞）を学習し、簡潔なフランス語で表現できるようになります。また、現在・過去に加え未来の表現も学び、現在・過去・未来においてすること・したこと・する予定のことを表現できるようになります。						
授業計画	第1回 フランス語IBの復習：現在と複合過去 第2回 第10課：関係代名詞 第3回 第10課：疑問代名詞 第4回 第11課：人称代名詞 第5回 第11課：直接目的補語と過去分詞の一致 第6回 第12課：受動態 第7回 第12課：指示代名詞、強調構文 第8回 第13課：代名動詞現在 第9回 第13課：代名動詞複合過去 第10回 第13課：非人称構文 第11回 第14課：単純未来 第12回 第14課：前未来 第13回 第14課：中性代名詞 第14回 まとめと試験 第15回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業での説明を踏まえて、練習問題にまず各自で取り組んでください。そして授業中は自分の理解度を把握するように努め、その中で見えてきた疑問点は放置せず、必ず質問してください。 授業後学習：練習問題や小テストで間違えた問題や自信がなかった問題を復習してください。教科書やノートを読み直しても分かり難いところは放置せず、必ず質問してください。また、教科書の例文や練習問題を何度も音読し、フランス語の文に慣れるようにしてください。						
授業方法	講義と演習を並行して行います。出席者全員の理解を目指して、毎回小テストを行います。						
評価基準と評価方法	授業内評価50%（特に小テスト）、学期末試験50%						
教科書	『《新版》ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2001年 ISBN 978-4-560-06052-0 C3085						
参考書	必要に応じて指示します。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法の完成 昨年度から継続して、第10課より始める。文法説明以外に、フランス語らしく読めるよう指導もする。またそのための小テストも毎回行なう。 第8回目の授業時に中間試験を行い、15回目の授業時に期末試験を行う。						
到達目標	代名動詞の文や非人称構文の文だけでなく、関係代名詞、人称代名詞をともなった複雑な文をも理解し、直説法単純未来という新たな時制の文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：昨年度の試験を返却し、解答する。授業の進め方の説明。関係代名詞（その1） 第2回：関係代名詞（その2） 第3回：疑問代名詞（その1） 第4回：疑問代名詞（その2） 第5回：人称代名詞（その1） 第6回：人称代名詞（その2） 第7回：強勢形人称代名詞 第8回：中間試験と授業、受動態（その1） 第9回：受動態（その2） 第10回：指示代名詞、強調構文 第11回：代名動詞（その1） 第12回：代名動詞（その2） 第13回：非人称構文、直説法単純未来（その1） 第14回：直説法単純未来（その2）、前未来 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	川口 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語初級文法の完成						
授業の概要	フランス語IIAの授業を引継ぎ、基本的な文法を学び、フランス語の「しくみ」を習得することが目標です。文法事項の説明の後、それを明確に理解するために練習問題を行います。全員理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでいきます。						
到達目標	過去の状態・習慣の表現を学び、さらに豊かに過去について表現できるようになります。さらには、仮定の世界での表現（条件法）、従属節を用いた表現（接続法）も学び、より複雑なフランス語の表現もできるようになります。書き言葉で用いる活用（単純過去・前過去）を理解することにより、様々な資料を読むことが可能となります。						
授業計画	第1回 フランス語IIAの復習：現在・複合過去・単純未来 第2回 第15課：半過去 第3回 第15課：大過去 第4回 第15課：前置詞＋関係代名詞 第5回 第16課：条件法現在 第6回 第16課：条件法過去 第7回 第16課：現在分詞、ジェロンディフ 第8回 第17課：単純過去 第9回 第17課：前過去 第10回 第17課：直接話法と間接話法 第11回 第18課：接続法現在 第12回 第18課：接続法過去 第13回 第18課：所有代名詞 第14回 まとめと試験 第15回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業での説明を踏まえて、練習問題にまず各自で取り組んでください。そして授業中は自分の理解度を把握するように努め、その中で見えてきた疑問点は放置せず、必ず質問してください。 授業後学習：練習問題や小テストで間違えた問題や自信がなかった問題を復習してください。教科書やノートを読み直しても分かり難いところは放置せず、必ず質問してください。また、教科書の例文や練習問題を何度も音読し、フランス語の文に慣れるようにしてください。						
授業方法	講義と演習を並行して行います。出席者全員の理解を目指して、毎回小テストを行います。						
評価基準と評価方法	授業内評価50%（特に小テスト）、学期末試験50%						
教科書	『《新版》ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2001年 ISBN 978-4-560-06052-0 C3085						
参考書	必要に応じて指示します。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の文法						
授業の概要	フランス語文法の完成 フランス語文法をひとつおし終えることを目指す。文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストを毎回行う。 第8回目の授業時に中間試験を行い、15回目の授業時に期末試験を行う。						
到達目標	さまざまな時制の文を理解し、中性代名詞をとこなう文や、現在分詞やジェロンディフの使われた文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：前期末試験を返却して解答する。授業の進め方の説明。 中性代名詞le。 第2回：中性代名詞en、 第3回：中性代名詞y、直説法半過去（その1） 第4回：直説法半過去（その2） 第5回：直説法大過去（その1） 第6回：直説法大過去（その2） 第7回：前置詞に先行される関係代名詞 第8回：中間試験と授業、条件法現在 第9回：条件法過去 第10回：現在分詞、ジェロンディフ 第11回：間接話法（その1） 第12回：間接話法（その2） 第13回：接続法現在 第14回：接続法過去、所有代名詞 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験90%、平常点10%。仏検合格者には、最終成績に5点加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ 斎藤昌三著（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIC/French IIC						
担当教員	釣 馨						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、読んだり、話したりする力をつける：						
授業の概要	フランス語を使った基本的なコミュニケーション能力を身に着けます。最初のうちは仏検形式の問題を使って初級文法を復習しながら授業を進めますので、忘れてしまった学生さんも安心して受講してください。CALL教室を使うので、フランス語のサイトや動画も活用します。途中、簡単な確認の試験や口答試験もやります。後半から映画のシナリオを導入します。						
到達目標	文法的には仏検5級レベルの力を確実につける。またフランス語で自己紹介や身近なことを表現できるようにする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&アンケート 2. 仏検問題で復習(1) 3. 仏検問題で復習(2) 4. 仏検問題で復習(3) 5. 仏検問題で復習(4)、確認テスト 6. フランス語で自分のことを説明する(1) 7. フランス語で自分のことを説明する(2) 8. フランス語で自分のことを説明する(3) 9. 口頭テスト 10. 映画教材「WASABI」 11. 映画教材「WASABI」 12. 映画教材「WASABI」 13. 試験対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次回進む部分をあらかじめ調べてくること。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(20%)と小テスト(20%)、期末試験(60%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIC/French IIC						
担当教員	釣 馨						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、読んだり、話したりする力をつける：						
授業の概要	フランス語を使った基本的なコミュニケーション能力を身に着けます。最初のうちは仏検形式の問題を使って初級文法を復習しながら授業を進めますので、忘れてしまった学生さんも安心して受講してください。CALL教室を使うので、フランス語のサイトや動画も活用します。途中、簡単な確認の試験や口答試験もやります。後半から映画のシナリオを導入します。						
到達目標	文法的には仏検5級レベルの力を確実につける。またフランス語で自己紹介や身近なことを表現できるようにする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&アンケート 2. 仏検問題で復習(1) 3. 仏検問題で復習(2) 4. 仏検問題で復習(3) 5. 仏検問題で復習(4)、確認テスト 6. フランス語で自分のことを説明する(1) 7. フランス語で自分のことを説明する(2) 8. フランス語で自分のことを説明する(3) 9. 口頭テスト 10. 映画教材「WASABI」 11. 映画教材「WASABI」 12. 映画教材「WASABI」 13. 試験対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次回進む部分をあらかじめ調べてくること。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(20%)と小テスト(20%)、期末試験(60%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、話したりする総合的な力をつける						
授業の概要	後期からは本格的に映画のシナリオを導入します。映画のシーンを使ってフランス語を学ぶ利点は、フランス語が話される現場に立ち会えることです。どんなフランス語が、どのような状況で話されているのか考察し、そこで使われている表現を実際に使ってみましょう。授業はテキストを使用せず、随時プリントを配布します。						
到達目標	映画を通して、フランス語のスムーズな読み、フランス語の基本的な表現を身につける。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仏検問題で復習(1)、動画とシャンソン 2. 仏検問題で復習(2)、動画とシャンソン 3. 仏検問題で復習(3)、動画とシャンソン 4. 小テスト、映画「アメリ」(1) 5. 映画「アメリ」(2) 6. 映画「アメリ」(3) 7. 映画「アメリ」(4) 8. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(1) 9. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(2) 10. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(1) 11. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(2) 12. 映画「パリ、ジュテーム」(1) 13. テスト対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次に進む部分をあらかじめ調べてくる。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(シナリオの訳を担当してもらいます、40%)と期末試験(60%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、話したりする総合的な力をつける						
授業の概要	後期からは本格的に映画のシナリオを導入します。映画のシーンを使ってフランス語を学ぶ利点は、フランス語が話される現場に立ち会えることです。どんなフランス語が、どのような状況で話されているのか考察し、そこで使われている表現を実際に使ってみましょう。授業はテキストを使用せず、随時プリントを配布します。						
到達目標	映画を通して、フランス語のスムーズな読み、フランス語の基本的な表現を身につける。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仏検問題で復習(1)、動画とシャンソン 2. 仏検問題で復習(2)、動画とシャンソン 3. 仏検問題で復習(3)、動画とシャンソン 4. 小テスト、映画「アメリ」(1) 5. 映画「アメリ」(2) 6. 映画「アメリ」(3) 7. 映画「アメリ」(4) 8. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(1) 9. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(2) 10. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(1) 11. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(2) 12. 映画「パリ、ジュテーム」(1) 13. テスト対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次に進む部分をあらかじめ調べてくる。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(シナリオの訳を担当してもらいます、40%)と期末試験(60%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIE						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス語を聞き取り、フランス語で話す力を養成する。						
授業の概要	フランス人講師のもとで、いっさい日本語をまじえずにフランス語を学習する。CALL教室での発音矯正の授業、2、3人で組んでスケッチを演ずる授業もある。						
到達目標	知っているフランス語の表現を駆使して、日常のさまざまな場面でフランス語でなんとかコミュニケーションを成立させることのできる力、その場を切り抜けていく力をつけることを目標とする。						
授業計画	基本は教科書を使って、文法や日常の場面で使われる表現を練習していく。また適宜副教材を使ってゲーム感覚でフランス語を楽しく学べる工夫もなされる。授業は60分の授業が午前と午後にそれぞれ2回ずつ行なわれる。そのうち1回はCALL教室で行なわれる。期間は8月7日から27日までの月曜日から金曜日までである。						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題が出るので、必ずしておかなければならない。次の日の授業の予習も欠かさずしておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	授業への参加度、何度か行なわれる小テストなどによって総合的に評価する。						
教科書	初回授業時に教科書が渡される。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIF						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス語を聞き取り、フランス語で話す力を養成する。						
授業の概要	フランス人講師のもとで、いっさい日本語をまじえずにフランス語を学習する。CALL教室での発音矯正の授業、2、3人で組んでスケッチを演ずる授業もある。						
到達目標	知っているフランス語の表現を駆使して、日常のさまざまな場面でフランス語でなんとかコミュニケーションを成立させることのできる力、その場を切り抜けていく力をつけることを目標とする。						
授業計画	基本は教科書を使って、文法や日常の場面で使われる表現を練習していく。また適宜副教材を使ってゲーム感覚でフランス語を楽しく学べる工夫もなされる。授業は60分の授業が午前と午後にそれぞれ2回ずつ行なわれる。そのうち1回はCALL教室で行なわれる。期間は8月7日から27日までの月曜日から金曜日までである。						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題が出るので、必ずしておかなければならない。次の日の授業の予習も欠かさずしておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	授業への参加度、何度か行なわれる小テストなどによって総合的に評価する。						
教科書	初回授業時に教科書が渡される。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIA						
担当教員	野口 一浩						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	基本的なフランス語の作文の作成に挑戦してみる。そして同時に、取り扱う文章自体が日常会話に近いものが多い為、会話としても捉えどのような状況で使用するかを学生と共に考察する。						
授業の概要	テキストにそって授業を進める。事前に予習プリントが配布され、それを学習しておくことによって授業内容の理解度が増す。キーワードは「好奇心に満ちあふれた作文学習」である。又毎回授業の最初に小テストあり。						
到達目標	テキスト及び予習プリントに出てきた文章は完璧に書く事が出来るようになること。また、各基本動詞の活用も指定された箇所は覚え、その応用が出来るようになること。会話文としても使う事が出来るように、口頭での練習も欠かさないこと。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入（予習の仕方、授業内容、復習の仕方、ノートの作成の仕方などの説明）と授業（Theme 1） 2. Theme 1の予習プリント（être） 3. Theme 1のExercice 4. Theme 2の予習プリント（avoir） 5. Theme 2のExercice 6. Theme 3の予習プリント（faire） 7. Theme 3のExercice 8. Theme 4の予習プリント（aller/venir） 9. Theme 4のExercice 10 Theme 5の予習プリント（voir/regarder） 11 Theme 5のExercice 12 Theme 1-3の総復習 13 Theme 4-5の総復習 14 授業及び質疑応答と前期試験 15 授業及び質疑応答と答案返却・解説 						
授業外における学習（準備学習の内容）	特に事前に配布される予習プリントは完璧に埋めてくること。予習をせず講義に出席してもあまり意味はない。						
授業方法	講義形式						
評価基準と評価方法	筆記試験60%、平常点（出席や小テストや課題の提出など）40%						
教科書	『基本動詞によるやさしいテーマ（改訂版）』 著者は青井 明 ISBN978-4-560-06050-6						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIB						
担当教員	野口 一浩						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	前期に引き続き、更にフランス語の作文の力を向上させ楽しくかつ正確にフランス語の様々な表現を身につける。教員の長きに渡る在仏経験を利用して、作文から会話に転換する技術を習得する。最終的には実戦的なフランス語の習得にまでもっていく。						
授業の概要	授業の形式は前期とほぼ同じである。予習を事前に配布される予習プリントを使い行うこと。そして授業にて正解の確認。前期との相違点は、学生各自が授業で学んだフレーズを用いてオリジナルの会話集を作成し、提出することである。						
到達目標	作文と日常会話の見事な融和。単に書いて覚えるという作業にとどまらず、今後行なわれるであろう旅行や留学先も想定し、実践的な会話にまで昇華していくこと。学ぶ過程には「楽しさ」が必ず必要である。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入部（予習の仕方や授業の進め方など）と授業（Theme 6 / mettre） 2. 予習プリントmettre 3. Theme 6のExercice 4. Theme 7の予習プリント（pouvoir） 5. Theme 7のExercice 6. Theme 8の予習プリント（prendre） 7. Theme 8のExercice 8. Theme 9の予習プリント（falloir） 9. Theme 9のExercice 10 Theme 10の予習プリント 11 Theme 10のExercice 12 Theme 6-8の総復習 13 Theme 9-10の総復習 14 授業及び質疑応答と後期試験 15 授業・質疑応答と答案返却と解説 						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回配布される予習プリントを必ず埋めてくること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	筆記は60%と平常点（出席・課題・小テストなど）は40点						
教科書	青井 明著 『基本動詞によるやさしいテーマ（改訂版）』 ISBN978-4-560-06050-6						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIC/French IIIC						
担当教員	G. Haraguchi						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語会話。 現代のフランス社会。						
授業の概要	各種副教材（テキスト、CD、ビデオなど）を用いてフランス社会についての知識を得る。						
到達目標	社会や文明に関する下記のテーマを通じて、知識を深め、会話能力を高める。 - フランスでの暮らし（フランス各地の地理的・文化的特色） - フランスの食生活 - フランスの教育制度など						
授業計画	1- はじめに：自己紹介。授業の進め方や教科書・副教材の使い方について説明。 2- フランスの国土（副教材使用） 3- 地理と気候。 4- フランス各地の特色。 5- フランスの季節と暮らし。 6- 四季の暮らし。 7- 家の中で感じる季節（副教材使用）。 8- フランスの初・中等教育（副教材使用）。 9- 幼稚園、小学校、中学校。 10- リセとバカロレア。 11- フランスの高等教育。 12- フランスで食べる（副教材使用）。 13- フランスの美食料理。 14- 普段の食生活。 15- テストと補習。						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前の準備： 1- テキストを読み、CDを聞く。 2- 取り上げられるテーマについて予め調べる。 3- クラスでのディスカッションのため、小発表や質問事項を準備する。 欠かさず出席することが必須。						
授業方法	会話						
評価基準と評価方法	レポート30% 小テスト50% オーラル20%						
教科書	La société française 著者：Jean-Luc Azra ほか 出版社：Alma Editeur ISBN：978-4-904147-00-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIID/French IIID						
担当教員	G. Haraguchi						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語会話。 現代のフランス社会。						
授業の概要	各種副教材（テキスト、CD、ビデオなど）を用いてフランス社会についての知識を得る。						
到達目標	社会や文明に関する下記のテーマを通じて、知識を深め、会話能力を高める。 - フランスでの暮らし（フランス各地の地理的・文化的特色） - フランスの食生活 - フランスの教育制度など						
授業計画	1- フランスの政治制度。 2- フランス人と政治。 3- フランス人と仕事（副教材使用）。 4- 雇用と失業。 5- フランス人とバカンス（副教材使用）。 6- バカンスの季節。 7- バカンスの過ごし方。 8- フランス人の信仰（副教材使用）。 9- フランスの歴史について。 10- 女性と男性（副教材使用）。 11- 社会における女性と男性。 12- 家族、カップル、そして、子ども。 13- フランス人のマナー。 14- 会話のスタイル。 15- テストと補習。						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前の準備： 1- テキストを読み、CDを聞く。 2- 取り上げられるテーマについて予め調べる。 3- クラスでのディスカッションのため、小発表や質問事項を準備する。 欠かさず出席することが必須。						
授業方法	会話						
評価基準と評価方法	レポート30% 小テスト50% オーラル20%						
教科書	La société française 著者：Jean-Luc Azra ほか 出版社：Alma Editeur ISBN：978-4-904147-00-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語III E						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1～4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス語を聞き取り、フランス語で話す力を養成する。						
授業の概要	フランス人講師のもとで、いっさい日本語をまじえずにフランス語を学習する。CALL教室での発音矯正の授業、2、3人で組んでスケッチを演ずる授業もある。						
到達目標	知っているフランス語の表現を駆使して、日常のさまざまな場面でフランス語でなんとかコミュニケーションを成立させることのできる力、その場を切り抜けていく力をつけることを目標とする。						
授業計画	基本は教科書を使って、文法や日常の場面で使われる表現を練習していく。また適宜副教材を使ってゲーム感覚でフランス語を楽しく学べる工夫もなされる。授業は60分の授業が午前と午後にそれぞれ2回ずつ行なわれる。そのうち1回はCALL教室で行なわれる。期間は8月7日から27日までの月曜日から金曜日までである。						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題が出るので、必ずしておかなければならない。次の日の授業の予習も欠かさずしておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	授業への参加度、何度か行なわれる小テストなどによって総合的に評価する。						
教科書	初回授業時に教科書が渡される。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語研修						
担当教員	単位認定者：打田素之						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	2~4	単位数	2.0
授業のテーマ	フランスでフランス語を学ぶ。						
授業の概要	3週間に渡るフランス語研修旅行。最初の2週間は南仏のモンペリエに滞在して、現地の語学学校でフランス語を学ぶ。最後の1週間はパリに移動して、フランス語の実践能力を養う。						
到達目標	実践的なフランス語能力の養成とフランス文化の理解。						
授業計画	8月30日（金）：関西空港出発 31日（土）：モンペリエにて語学研修 開始 9月13日（金）：モンペリエでの語学研修 終了 14日（土）：パリ研修開始 20日（金）：パリ研修終了 21日（土）：関西空港に帰国 *上記の日程は変更されることがあります。詳しいことは、国際交流センターに問い合わせること。						
授業外における学習（準備学習の内容）	モンペリエでは午後が、パリでは1週間全て自由研修の時間となります。この間、できるだけ時間を有効に使って、フランス語とフランス文化を吸収すること。						
授業方法	語学学校での授業＋現地での見学＋自由研修						
評価基準と評価方法	語学学校での成績（50%）＋現地での活動点（50%）						
教科書							
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話A/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスでは授業中の質疑応答など、できる限りフランス語を用いて授業を進める予定である。また、言葉だけでなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	「自分や他人について、語る・尋ねる」をテーマに、フランス語で話し、聞く能力を身につけることを目標とする。また、教室内で用いる指示の表現や質問の仕方も学習する。						
授業計画	第1回：授業の説明。教室で使う表現。アルファベ、数詞 0～10 の確認 第2回：Leçon 1 出合いの挨拶、別れの挨拶 第3回：Leçon 2 目の前のものについて語る 第4回：Leçon 3 名前・職業・国籍を言う (1) 第5回：Leçon 3 名前・職業・国籍を言う (2) 第6回：Leçon 4 働いているところ、住んでいるところを言う。使用言語について話す (1) 第7回：Leçon 4 働いているところ、住んでいるところを言う。使用言語について話す (2) 第8回：これまでの復習とまとめ 第9回：Leçon 5 兄弟姉妹について話す。持ち物について話す 第10回：Leçon 5 年齢について話す。値段をたずねる。数詞 11～100 第11回：Leçon 6 好きなこと・嫌いなことについて話す 第12回：Leçon 6 天候について話す。行先や位置について話す 第13回：Leçon 7 どこから来たかについて話す 第14回：Leçon 7 交通手段を伝える 第15回：まとめと最終試験（口頭・筆記）						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、教師と学生・学生同士などで口頭練習を行いながら知識の定着をはかる。毎回テキストとは別に役に立つ表現を数文ずつ覚える（暗記文については最初の授業で指示する）。授業中の質疑応答などは、できる限りフランス語を用いて行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（口頭試験・筆記試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『トゥ・ファシル!』大湾宗定、阪口勝弘 著、白水社 ISBN978-4-560-06112-1						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話B/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスでは授業中の質疑応答など、できる限りフランス語を用いて授業を進める予定である。また、言葉だけでなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	1) 日々の生活について語る、2) 過去や未来のことを語る、をテーマにフランス語で話し、聞く能力を身につけることを目標とする。						
授業計画	第1回：前期の復習。Leçon 8 レストランで注文する (1) 第2回：Leçon 8 レストランで注文する (2) 第3回：Leçon 9 買い物をする 第4回：Leçon 9 比較する 第5回：これまでの復習とまとめ 第6回：Leçon 10 一日にすることを話す 第7回：Leçon 10 時刻を伝える 第8回：Leçon 11 過去のことを話す① (1) 第9回：Leçon 11 過去のことを話す① (2) 第10回：Leçon 12 過去のことを話す② (1) 第11回：Leçon 12 過去のことを話す② (2) 第12回：これまでの復習とまとめ 第13回：Leçon 13 未来のことを話す (1) 第14回：Leçon 13 未来のことを話す (2) 第15回：まとめと最終試験（口頭・筆記）						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、教師と学生・学生同士などで口頭練習を行いながら知識の定着をはかる。 毎回テキストとは別に役に立つ表現を数文ずつ覚える（暗記文については最初の授業で指示する）。 授業中の質疑応答などは、できる限りフランス語を用いて行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（口頭試験・筆記試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『トゥ・ファシル!』大湾宗定、阪口勝弘 著、白水社 ISBN978-4-560-06112-1						
参考書							